NOVARTIS

タブレクタ□薬効薬理

タブレクタ

薬効薬理

タブレクタの作用機序

タブレクタは、METに対する選択的な阻害剤で、in vitroにおいてチロシンキナーゼのアデノシン三リン酸（ATP）結合部位を競合的に阻害します。

タブレクタの作用機序

薬効を裏付ける試験成績

薬効を裏付ける試験成績［キナーゼに対する選択性（in vitro）、MET遺伝子エクソン14スキッピング変異を遺伝子導入した細胞株に対する作用（in vitro）］について掲載しています。

薬効を裏付ける試験成績

弊社製品についてのお問い合わせ

お問い合わせ

Source URL: *https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/tabrecta/pharmacology*